



岐阜県の肉用鶏農場で 高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜確認!!

農場所在地：岐阜県山県市
飼養羽数：約5万羽

【経緯】

- 岐阜県は、1月4日（木）、死亡羽数が増加している旨の通報を受け、農場への立入検査を実施した。
- 農場での簡易検査が陽性であったため、遺伝子検査を実施した結果、1月5日（金）、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認した。

※ 引き続き下記の衛生管理をお願いします。

◎毎日の健康観察

死亡羽数の増加（1日の死亡率が過去3週間の平均の2倍以上）

※死亡率が2倍未満であっても、通常と異なる症状（まとまって死亡している、元気がない、餌食いが悪い、沈うつ等）、生産面での異状（産卵率の低下等）にも注意してください！

◎飼養衛生管理基準の遵守の徹底

- ・ 衛生管理区域、家きん舎に立ち入る際の手指消毒
- ・ 家きん舎ごとの専用衣服と長靴の着用
- ・ 出入りする車の消毒
- ・ 防鳥ネットの破損有無の確認、修繕
- ・ ネズミ等の小動物対策、駆除
- ・ 農場周辺への消石灰散布

近県の野鳥からもウイルスが検出され、侵入リスクが高まっています！
農場への侵入を防ぐため、確実に消毒を実施してください！！

野生動物や衛生害虫による ウイルス侵入防止対策を徹底しましょう!!

ハシブトガラスやクロバエは、腐肉食性で、動物の死体を食べる習性があり、農場、鶏舎内へウイルスを運ぶ重要な感染経路の一つと考えられます。

防鳥ネットの再点検、衛生害虫対策を徹底しましょう。

オオクロバエ

- 暗青藍色の大型のクロバエ（体長 10～15mm）
- 嗅覚に優れ飛翔力高い（1.8km/日）
- 成虫は、晩秋と初春（比較的寒い時期）に活発で、夏季には見られなくなる。



※今シーズン、オオクロバエから高病原性鳥インフルエンザウイルスが分離されています！

～ クロバエ類の家きん舎内への侵入防止について ～

- ◎死亡鶏を家きん舎内等に放置しない！
死亡鶏は速やかに畜舎内から出し、密閉容器で保管しましょう！
- ◎家きん舎の金網や防鳥ネット（吸気口）を殺虫剤処理する
10月～4月は、最低月に1回殺虫剤で処理しましょう！
- ◎集糞ベルトの出口等の対策も忘れずに！
集糞ベルト出口ではクロバエ類をよく見かけます。
日頃から殺虫、消毒を実施しましょう。

◎異状を発見したら、直ぐに家畜保健衛生所に通報!!

⇒ 048-521-1274